

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	国連大学の施設整備			担当部局庁	大臣官房国際課	作成責任者			
事業開始年度	平成22年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	大臣官房国際課	国際協力企画室長 出口 夏子			
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国は「国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定」により、国際連合大学本部施設の構造的破損の予防及び修繕についての責任を有していることから、緊急性や費用を勘案し、修繕の優先度が高い設備の改修工事を行う。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	国際連合大学本部施設は平成4年度の完成後、令和4年度で30年が経過しており、施設の老朽化が進んでいる。このため、当該施設の設備を更新し、安全な教育研究環境を提供することが求められていることから、令和2年度以降は、空調機器を更新するとともに、令和3年度以降は、老朽化した煙突の改修を併せて実施する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
	予算状況	当初予算	78	-	-	-	312		
		補正予算	165	680	916	-			
		前年度から繰越し	673	609	680	1,250			
		翌年度へ繰越し	▲ 609	▲ 680	▲ 1,250				
		予備費等	-	-	-				
		計	307	609	346	1,250	312		
	執行額		307	584	163				
	執行率 (%)		100%	96%	47%				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		126%	86%	18%				
令和4・5年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	施設整備費	-	15	※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。					
	施設施工庁費	-	298	※重要政策推進枠:312百万円					
	計	-	312						
	国連大学本部施設に設置されている煙突の老朽化が進んでいることから、安全性を確保するため、改修を行う。								
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	老朽化した煙突を改修する。(令和3年度及び令和4年度の2年計画で更新予定のため、令和3年度の見込みは「-」とする。)	改修した煙突の数	活動実績	件	-	-	-	-	-
			当初見込み	件	-	-	-	2	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	執行額/改修した煙突の数(令和3年度及び令和4年度の2年計画で更新予定のため、令和3年度の値は「-」とする。)			単位当たりコスト	円/件	-	-	-	241,318
				計算式	円/件	-	-	482,636/2	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標4年度	目標最終年度
			成果実績	%	-	-	9	-	-
	本部施設の煙突改修工事出来高	事業執行進捗度	目標値	%	-	-	5	100	-
			達成度	%	-	-	180	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	国際連合大学本部施設の各工事に係る契約額に対する支払額の割合をもって事業執行進捗度とする。 {395,565/(395,565 + 3,740,000)} × 100 = 9%								
活動内容(アクティビティ)	国連大学本部施設の安全な教育研究環境の維持に必要な換気機能の向上のために、本部施設内に設置されている老朽化した空調設備の改修を行う。								

活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	空調機を更新する。 (当初は令和2年度及び令和3年度の2年計画で更新予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により一部の空調機更新に必要な物品が供給されなかった。そのため、令和4年度まで延長することとなったことから、令和3年度の活動実績はらの残り「4」と令和3年度補正で予算措置された「8」を合計した「12」とする。)	更新された空調機の数		活動実績	件	-	-	11	-
		当初見込み	件	-	-	15	12	-	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	執行額/更新された空調機の数		単位当たりコスト 千円/件	-	-	14,780	62,906		
		計算式	千円/件	-	-	162,580/11	754,875/12		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 -年度	
	空調設備の改修の完了	空調機の更新進捗度	成果実績	%	-	-	73	-	-
			目標値	%	-	-	100	100	-
			達成度	%	-	-	73	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	令和2年度から令和3年度までに更新を予定している空調機の数に対し、令和3年度までに更新が完了した件数の割合をもって空調機の更新進捗度とする。 (11/15) × 100 = 73%								

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	国際連合大学本部として大学関係者のみならず広く一般に利用される施設であり、その施設の安全確保は重要である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	「国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定」に基づき、日本政府が国際連合大学本部施設の修繕について責任を有している。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	空調機器等の更新は施設の安全確保のために必要かつ適切な事業であり、安全確保の観点から優先度は高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札を行うことにより、単位当たりコストの削減に努めているため妥当である。また、随意契約となった契約もあるが、見積合わせを実施し競争性を確保の上支出先を選定しており妥当である。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	一般競争入札を行うことにより、単位当たりコストの削減に努めるとともに、随意契約した分も、工数の確認や現場視察等を通じ、効率的な経費の執行となるよう努めており、妥当な水準である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	改修を実施するために必要最低限の費目・使途を精査し、負担を行っている。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	令和2年度第3次補正(令和3年1月)に係る空調機器の更新については、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、半導体に関連する部品の供給が遅くなったことから、令和4年度に繰越すこととなった。また、令和3年度第一次補正予算(令和3年12月)に係る煙突の改修については、関係機関との協議を踏まえて工事を行う必要があり、また、当初の見込み以上の日数を要する可能性があり繰越したものであり、妥当である。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	緊急性や費用を勘案し、今後の修繕の優先度付けを行い、それに沿った計画的整備を実施することで、効率的な改修工事を行っている。	

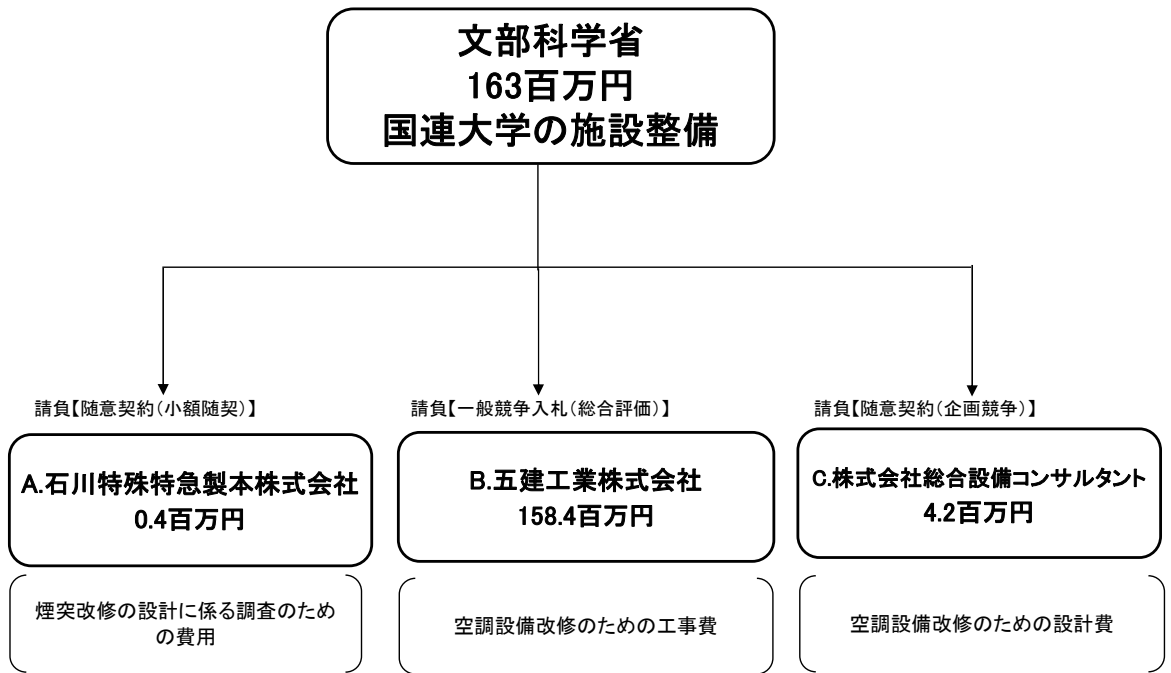
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	本事業によって、毎年度着実に、国際連合大学本部施設の改修が進められていることから、成果実績は成果目標に見合ったものとなっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	一般競争入札による支出先の選定は、経費の効率的使用の観点からも実効性が高く、また随意契約した分も、工数の確認や現場視察等を通じ、効率的な経費の執行となるよう努めている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	本事業によって、国際連合大学本部施設の改修は活動見込みに見合った形で着実に進められている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	施設は国際連合大学の本部として研究・教育活動に活用されている。また、本改修により、施設の安全性は着実に向上している。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	事業番号		事業名
点検・改善結果	点検結果	整備計画に基づき着実に事業が進捗し、施設の安全性も向上している。また、予算を執行する際は、一般競争入札を行うとともに、要件を満たす者が複数いない場合に限り特命随意契約を行うなど、競争性の確保に努めている。	
	改善の方向性	国際連合大学との連絡調整を密に行うことにより、中長期的な視点を持ち着実な事業の進捗を図る。また、引き続き、工事を発注する際は競争性を確保するとともに、随意契約の場合においても工事内容を適切に確認すること等を通じ経費が効率的に執行されるよう努め、効率的な安全性の向上を図る。	
外部有識者の所見			
外部有識者による点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
の事業 善部内 改容	この事業は、契約・執行手続きについて、一者応札が見受けられるため、評価に関する説明にも記載のとおり契約の競争性、公平性、透明性を確保しつつ進めて行くべきである。また、煙突工事については、令和3年12月の補正予算にて措置されているが、関係機関との調整等に時間を要し、改修工事が終了せず繰越を行ったものであることを鑑み、令和4年度中に完了できるよう、着実に進めるべきである。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
執行等 改	所見を踏まえ、仕様書の工夫等による契約の競争性、公平性、透明性の確保を通じ、本事業の適切な予算執行に努める。また、令和3年度補正予算の事業については、令和3年度中に工事を完了しなかったため、明許繰越を行ったものであり、令和4年度内に事業が完了するよう、引き続き計画的に工事を進める。		
備考			

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	4			
平成24年度	3			
平成25年度	448			
平成26年度	444			
平成27年度	440			
平成28年度	422			
平成29年度	432			
平成30年度	435			
令和元年度	文部科学省 - 0428			
令和2年度	文部科学省 0429			
令和3年度	0453			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)



※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記入したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で表情が分かるように記載)

A.石川特殊特急製本株式会社			B.五建工業株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設施工庁費	煙突改修の設計に係る調査のための費用	0.4	施設整備費	空調設備改修のための工事費	158
計		0.4	計		158
C.株式会社総合設備コンサルタント			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設施工庁費	空調設備改修のための設計費	4			
計		4	計		0

